

日本文化学科の人材育成に関する目的と3つのポリシー 【学士（日本文化）】

学部の人材育成に関する目的（甲南女子大学学則 第2条）

人間が作り上げてきた文化・言語および文学・芸術に対する深い関心と幅広い教養を身につける。加えて、言語ならびにメディアの運用力を修得し、円滑な人間関係を築くためのコミュニケーション能力と個性の発現である自己表現力を備えた人材を育成する。

学科の人材育成に関する目的（甲南女子大学学則 第2条）

日本語および日本文学についての豊かな教養を身につけ、歴史的視点や社会のさまざまな立場に立つて日本文化を総合的に捉え、諸課題に対して解決の道を探り、社会に貢献できる人材を育成する。

ディプロマ・ポリシー

DP1 知識・理解	(1)	日本語・日本文学・日本文化について、その歴史的背景を含め、客観的・科学的な知識と教養を身につけている。
	(2)	日本語の口頭言語および書記言語の双方で、高度で実践的なコミュニケーションに関する知識と教養を身につけている。
	(3)	日本のみならず世界を意識した目を持ち、現在のみでなく過去を踏まえ、また、ひとりよがりではなくステークホルダー全体と調和的な関係の維持ができる知識と良識を身につけている。
DP2 汎用的技能	(1)	日本文化に関するさまざまな教養を身につけ、それらを複眼的、論理的に分析し、的確に表現するとともに、他者を教え導く論理的思考力を身につけている。
	(2)	日本社会に関するさまざまな情報を収集・分析する情報リテラシーに加え、それらを書記言語・口頭言語を問わず適切に発信できる高度で実践的なコミュニケーションスキルを身につけている。
	(3)	人間相互の心の通った交流を軸に、相手の立場に寄り添いつつ現状を見直し、さらなる改善をはかる問題解決力を身につけている。
DP3 態度・志向性	(1)	自らの力で常に新たな日本語や日本文化の動向、時代の変化を理解し、また知識や能力の習得に努め、自らの問題解決に応用することのできる生涯学習力を身につけている。
	(2)	自己の意見を表出しつつ、他者の意見を傾聴し、他者と連携して問題解決にあたるチームワークを身につけている。
	(3)	社会にある多様な価値観を認め、他者との協調を重視しつつ自らの価値観を保持する高い倫理観を身につけている。
DP4 統合的な学習経験と創造的思考力	(1)	過去から未来へと続く日本文化に育まれた精神を見据え、かつ多角的な視点から自らを取り巻く社会の本質を捉える能力を身につけている。
	(2)	高度で実践的なコミュニケーションスキルを活用しつつ、現状の問題を認識し、その解決にあたる能力を身につけている。

カリキュラム・ポリシー

- 日本語日本文学分野、地域・歴史分野、コミュニケーション分野の3つをバランスよく学ぶことで、日本文化について総合的に理解できることをめざす。
- 日本語日本文学分野では、日本語学、日本文学についての知識と教養を深め、国語科教員や日本語教員として、また、ことばを中心としつつ実社会で必要とされる能力を身につける。
- 地域・歴史分野では、社会的・歴史的な視点でものごとを見る力を養い、さまざまな実習や視察、インターンシップ等を通して社会で実践できる能力を身につける。
- コミュニケーション分野では、「何について、なぜ伝えるのか」を明確に意識するための教養と実践を重ね、口頭や文章による表現技術を習得し、コミュニケーション産業界で実践できる能力を身につける

アドミッション・ポリシー

- 日本文化学科では、次のような学生を求めています。
- 1. 関心・意欲・態度**
日本文化に関心があり、この分野における多様な知識を学ぶ強い意志を持ち、そこで得たものを社会に向かって活用する意志をもっている人
 - 2. 知識・教養**
日本文化の諸分野を学ぶにあたり、必要な基礎学力※を習得した人
※高等学校までに履修した主要教科（国語、英語、地理歴史、公民、数学、理科）の基礎的な知識
 - 3. 思考力・判断力・表現力**
知識・教養を基盤として、深い思考をもとに適切な判断のできる人
柔軟な思考のもとに自由な発想で問題を解決しようとする人
コミュニケーション能力を向上させることができ、自己表現力を高めようとする人
 - 4. 協働性・主体性**
思いやりの心を持ち、人と文化の多様性を尊重してチームワークのとれる豊かな人間性を持つ人